令和7年度　事業計画

1　会員の拡大

会員数はシルバー人材センターが社会的な役割を果たす上で、大きな影響を及ぼします。会員拡大のためには、入会者の増加と退会者の抑制が必要となります。とりわけ女性会員が鍵となります。加えて、入会した会員が希望する仕事があり、入会して良かったと思えるよう、年齢に応じた就業機会の確保が課題です。

(1)入会促進への取組

①昨年度実施した地区説明会で参加者の多かった地区は回数を増やすなど、組織的・計画的に開催する

②各種会員募集チラシを、公共施設、金融機関等へ設置するとともに市内企業、経済団体への働きかけを行う

③広報等への折込をはじめ、可能な情報ツール活用した情報発信を行う

④毎月１回、ハローワーク桑名での就業相談会を継続して開催するとともに、連携を深める

⑤会員へ新入会員拡大報奨制度による新入会員紹介を呼びかける

⑥女性会員の拡大につながる工夫を図る

⑦講習会等の開催を充実させる

(2)退会抑制への取組

①未就業会員へ就業情報を提供するとともに、定期的に個別相談を実施する

②性別や年齢に関係なく、活躍の場の拡大につながる工夫を図る

③互助会による同好会活動等会員間の活性化を図る

④会員へのゴールド会員制度、夫婦会員半額制度の周知に努める

2　就業機会の拡大

就業機会の拡大は、会員の拡大とともに、シルバー人材センター事業の根幹をなすもので、会員の能力・年齢、そして希望に沿った就業の機会と提供が必要です。

発注者側とのミスマッチを解消するため、業務内容や就業内容について、適切に周知することが課題です。

(1)就業機会拡大への取組

①各種チラシを金融機関等に設置するとともに、商工会議所等経済団体との連携を

強化する
②発注者への定期的な訪問を実施し、発注者との信頼関係を向上させることで、就業拡大及び業務内容拡大に取組む
③性別や年齢に関係なく、活躍の場の拡大につながる就業開拓に努める
④事務局職員での打合せを毎週実施し、未就業会員への就業機会提供に努める
⑤ホームページ、事務所での掲示のほか、デジタル技術を活用して会員への情報提供に努める
⑥地域社会の要請を的確にとらえ、新たな職域の開拓に努める

3 安全・適正就業の徹底（兼 「安全・適正就業対策基本計画」）

会員の安全は、シルバー事業を推進する上で、最も基本的な事項です。全国的な重篤事故発生事例に対する予防を重点的に実施するとともに、「ちょっと待て　違う目線で再確認」をスローガンに、日常的かつ継続的な取組による事故撲滅と健康増進が課題です。加えて、不適切な就労は、会員の肉体的・精神的な負担となるばかりでなく、発注者との信頼関係を損なうことがあります。就労内容を詳細に確認するなど会員の負担とならないよう適切な就労となるよう努めます。

（1）安全・適正就業への取組
①全国的な重篤事故の状況を把握し、特に原因として多い「剪定における転落事故防止」「通勤途上における自転車事故防止」を中心に講習会の実施を行い、安全就業基準の徹底と指導に取組む
②安全就業委員会委員による事故発生場所を中心とした安全パトロールを実施し、会員への事故防止の取組向上に努める
③草刈作業者代表による会議の開催及び草刈作業者への講習会を実施し、草刈中での事故削減に向けて取組む
④安全かわら版を定期的に発行し、安全就業に関する情報や健康に関する情報等、会員への情報提供に努めるとともに、会員の安全意識を高めるために安全標語を募集する
⑤事故が発生した時には、関係者が即時事故現場に向かい事故原因、事故防止策等協議し、関係役員、関係会員へ周知することにより事故防止に取組む
⑥暑い環境下であっても就業しなければならないことを考慮し、事故予防に資する対策を支援する
⑦三重県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進大会、安全・適正就業パトロールに参加し、安全に関する知識の向上に努める
⑧より多くの会員に就業機会を提供するため、適正就業基準要綱の適正な運用に努める

4 組織の活性化

シルバー人材センターは、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、組織の運営や事業の開拓、会員拡大等、可能な限り会員自らが積極的に関与することで一丸となった組織・風土が求められます。センターは基本理念を実現するため、理事会を中心に専門委員会において、取り組むべき事業について、PDCAサイクルにより、適正執行を確認し、課題解決を図ります。センター事業の複雑・多様化や派遣事業の拡大が進む中で、事務処理の効率化や業務の利便性の向上を図るため、デジタル技術の活用やアウトソーシングが不可欠です。

また、持続可能なセンター事業の円滑な運営を担う事務局の執務環境の向上と職員の待遇改善及び資質向上が課題です。

（1）組織の活性化への取組

①「新たな契約方法」など外部環境の変化について、的確に対応する

②理事会及び専門委員会において、センター運営全般について、適切に対応する

③持続的な事務局体制を図るため、職員の能力向上と人材確保に努める

④会員の満足度向上に向けて、講習会等イベントを開催する

⑤センターの基本理念のもと、ボランティア活動等を開催することでシルバー事業の啓発を図る

5 財政基盤の強化

センターが時代の要請に応えて、将来を見据えた安定的な運営基盤の確立には、センターが一丸となった自助努力が必要です。会員の高齢化と会員の確保が厳しい中、会員個々の能力と収益性を勘案した、事業の選択と集中が今後の課題です。
歳入策の見直しを通じて、自主財源の確保に努め、既存概念に固執することなく、事務の合理化と業務の効率化を図る一方で、センターが保有する資源や資産の最適化が課題となります。

（1）財政基盤強化への取組

①自主財源の確保とともに、センターが所有する資産の最適化を図る

②有利な制度や補助金等の財源の確保に努める

③smile to smile の利用促進を図り、就業情報や配分金明細等情報範囲を拡大する

④SNS 機能を活用した情報発信と就業報告、現場写真などの提出による事業の効率化に取組む